

このページは、役場企画振興課に職場体験に来られた日野中学校2年生の板倉未季さんと高橋里佳さんが企画し、取材、編集されました。



10月25日(月)から29日(金)までの5日間、日野中学校2年生の職場体験が行われました。

約180人の生徒が、社会のマナーやルールをしつかり守り、職業観を高め、この経験を今後の学校生活や人生設計に役立てるため、町内47か所の職場に体験に行きました。

職場体験

私たち二人は、この広報の1ページを書かせてもらえることになりました。取材先では、質問をしたり、写真を撮ったり、職場の方とのコミュニケーションをとるのが難しかったですが、とてもいい経験でした。

役場の方、取材先で出会った方、ごともありがとうございます。



▲板倉未季さん(左)
高橋里佳さん(右)

お菓子作りは甘くないっ!

洋菓子の店 不二屋

洋菓子の店不二屋(松尾)には、中学生5人が体験に行きました。

中学生は、お店の窓を掃除したり、お菓子を袋に詰めたりしていました。

お店の窓を掃除しているとき、背伸びをしていて、お店の人も「がんばってください」と言っておられました。



▲お店を掃除している様子



▲お店の方と中学生の集合写真

「仕事はどうですか?」と聞くと、中学生は「掃除は大変だけど、お菓子のことをしているときは楽しい」と答えてくれました。

お菓子作りだけではなく、掃除やお菓子を入れるための箱を組み立てたり、さまざまな仕事をしなければいけません。体験を通して、仕事の辛さや楽しさを実感したようです。

子どもたちと遊ぼう!

日野幼稚園

日野幼稚園には中学生4人が体験に行きました。

ばんだ組、こあら組、ぞう組、きりん組に一人ずつ入り、4〜6歳の子どもたちのお世話をしたり、遊んだりしていました。教室の中では、粘土配りなど、幼稚園の先生方のお手伝いをし、園庭では、鬼ごっこやおままごとなどをしている姿が見



▲滑り台を滑っている様子



▲「お姉ちゃん、おいしい?」

られました。子どもたちは中学生のお姉さんと手をつないだり、抱っこしてもらったり、とてもうれしそうでした。鬼ごっこの後、子どもたちに話を聞くと「楽しい」と言っていたのに、中学生に話を聞くと「疲れた」と言っていたので、中学生は子どもたちの元気にちよつと負けている気がしました。